

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイ ゆめときわ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 6日 ～ R7年 1月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	R7年 1月 6日 ～ R7年 1月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所を利用している子どもさん9割が当法人内の相談支援事業所とも契約をしているため、相談支援事業所との情報共有がしっかりできていること。	相談支援事業所、当事業所、保護者様との会議や面談がしっかり行われるため、情報共有、共通理解が行えている。	関係機関との交流の広がりには期待はできる 放課後等デイサービスから就労移行にも情報提供がしっかり行えること。
2	アットホーム的な環境で子どもたちが楽しんで来所してくれていること。	遊び感覚で楽しんで取り組めるようなプログラム支援に意識して取り組んでいる。	一人一人に合わせてさらに細かい支援プログラム設定を行い、取り組んでいく。
3	専門職員がそれぞれの分野の観点から子どもたちの支援につけて繋げていけること。	それぞれの職員が持っている資格を生かし、いろんな分野から子どもたちを分析できる。 会議、位置合わせは多く取り入れることで、職員同士の会話を増やすことで共有しやすい環境を整えていっている。	外部研修に参加してもらい、さらにスキルアップ、意識向上に向けて取り組んでいる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様に向けての勉強会やペアトレなどの情報提供や参加の場を設けていない。	個々の実地は出来ているが多くの保護者様になると日程が合わない。 お仕事をされている保護者様も多く、参加確保の困難になること。	交流会や勉強会など年に数回実地、取り組みを今後検討してみる。
2	放課後等児童クラブや児童館との交流がないこと。	平日は時間的に難しく、土曜祝日は当事業所の行事を予定している。 特性についても本人配慮、保護者様配慮を必要とするので、現状困難な場面が多いと感じている。	少しずつできるところから、計画を立てて取り組めるよう検討してみる。
3			